



THE SAKURA

第24号

'68.12.1

ボーイスカウト

東京103

昭和四十二年を想う

年長隊隊長 三井 道

七五三のお祝も過ぎ、二の酉も終りいよいよ十二月師走がやってまいりました。人間だんだん年をとると月日のたつのが非常に早く感じられるようになり、あれもしたいこれもしたいと思うことばかりでなかなか実行は出来ません。あまりにも忙しのか、あまりにもなまけ者かどちからかであると思いません。我々年長隊も登隊二年目を迎える年度初めには色々な計画を持ち今年こそはという心意気にもえてスタートしたので、今振り返って見ると何かものたりない一年ではなかつたかと思いません。もつと我々年長スカウトとしてやらなければならぬところが相当残されたのではないかと私は感じております。何がたりなかつたかというものは各自今年のスタートまでにじっくりと考え下さる。今年度最大の行事である夏のキャンプを振り返って見たいと思う。

木曾路はすやて山の中であると云う名文には、じまる文豪島崎藤村の名作夜明け前の舞台である木曾路をたづねた。

木曾路と云うのは中仙道六十九次の中の十一

宿を云うのである。中仙道とは近江の草津追分より江戸まで百三十二里二十二丁(約五二〇軒)であり、東海道より十里(約四十軒)長いが大井川等の川止めがないたため旅程は短かった。その相当地利用されたものである。そのため旅人の参す路銀や通過する荷物の運賃によつてかなりの繁栄を見たのであるが、時代の移りとも夜明け前の木曾も明治新政の暁きを迎へ封建制がじよじよに切り落されて行つたのである。

この永年の歴史をきざんだ木曾路を九日間にわたり木曾の漆器を見たり、木曾福島では正調木曾節の踊りから踊りを習つたり、あるいは寢覚の床の奇岩奇石の中で浦島太郎の伝説をきいたり、琴篋宿に残されてゐる昔のままの脇本陣をたづねたり、島崎藤村の血にながらふるさと心にながらふること言葉にながらふることである馬籠宿にある藤村記念館を見学し、徳川時代に変る日本の夜明けに生まれた青山半蔵の生涯を考へたり、色々と貴重な体験をし意義ある移動キャンプであつたと思ひます。

我々は古きをたづねて新しきを知る。我々人間として少し忘れかけている少し古いかもしりませんか、義理人情の厚さに皆あたるいたことと思ひます。木曾路の人々の厚い親切をいつまでも忘れずにいてもらいたいと思ひます。石の上にも三年と云うことゆががあります。我々も来年はいよいよ三年目を迎えるわけですが過去二年間の経験を生かして来年こそ充実したスカウト活動の出来るように全員の奮起を期待します。

追跡ハイワ

流星班 黒川 朝見

「わづかこれだけか。」
十一月十七日、隊ハイワへ行くために集まっ

た。スカウトは、わづか九名であった。そこから南

部線で行き、みたけという所でありた。そこから南

ばら神社へ行き、休けいして、昼食を半分たやた。そ

した。ほくの班は一番最後であった。十五分おきに出

る。追跡ハイワは、カブの時一度やったことがあ

ぶ。サインはいがいとみつけやすい所であった。

三分の二ぐらいたつた。副長がいて、そこで自

分のいる場所や、みたけの駅などをさかすよう

に言われた。それがすむとまた歩きはじめた。

日がさしてきたので、ともあつて、コフーフ

フと言いなから登った。すると間もなく頂上に

ついた。もうほかの班の人たちは、ついていた。

そして昼食を食べた。そのあと、とてもさむく

なってきたので、みんなどあはれた。そして一時

間ほど頂上についてから、さっき登ってきた道を

ひきかえした。こんどやるとしたら平たん地であり

『今日のうた』

山の子

一、歌声があこのみちにひびけば

あの森かげこの谷間、山びこの歌

山の子は山の子は歌がすきだよ

二、雨が降り、てるてるぼうずがないても

わたしたちは泣かないで、空をみつめる

山の子は山の子は、みんな強いよ

三、雲が去り、青い空がみいられりや

歌いまし、山鳩のあにいもうと

山の子は山の子は、歌が好だけ

B・Pの言葉

困難という空白の壁にぶつかったとき、
はじめその壁は高く見えるけれど、よく調
べてみれば登る足がかりになるような割れ
目やすきまがあるし、又、たとえ登れなく
ても十のうち一までは、まわれる道がある
ことを忘れてはいけません。

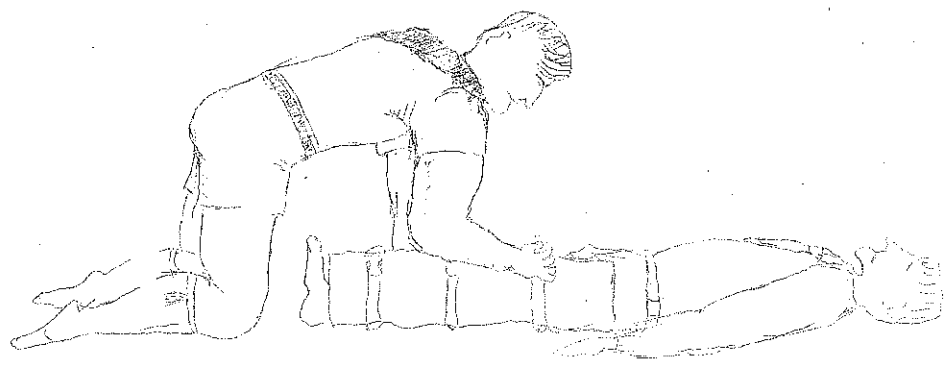


B.S. 12月のプロ

8日	隊集会	
15日	合同クリスマス	10:00-3:00 詳細は函情報
22日	忘年会	子供の家 時間未定

〜 B.S. 11月の動向 〜

- 16日(金) グリンバー会議
ハイキングに備えて地図と茲石の使用法の研究
参加者五名
- 17日(土) ハイキング (追跡)
御岳駅より物忽岳まで追跡ハイクを行なりました。
途中事故もなく無事頂上に着き、そこで、
くっ取りゲームをして楽しみました。
参加者九名
- 23日(金) 救急技能講習会
23,24両日にわたって救急技能の講習会があり、
骨折の時の応急処置や人工呼吸などの講習や実
技の練習が行われ、その後で救急車のテストが実
施され、わか隊の参加者は全員合格した。
参加者八名



C.S. 12月のプロ

8日	組集会	<ul style="list-style-type: none"> 13:30-15:00 九品仏 足柄山物語 劇の練習 もちもの 劇の道具、カブブック
15日	合同クリスマス	<ul style="list-style-type: none"> 詳しい事は 別情報で
22日	組集会	<ul style="list-style-type: none"> 13:30-15:00 九品仏 クリスマスカード年賀状作り

今日のテーマ 互いに助け合う

<家庭プロジェクト> 22日に暮のお手伝い表を提出する

C.S. 今日のプロより

12月8日 先月の足柄山物語の劇の仕上げをやります。

12月15日 合同クリスマス 午前10時から午後3時まで
 場所 ハ幡中学校体育館
 もちもの 弁当、水筒、箸、うわばき
 プレゼント(百円相当)

当日は足柄山物語の劇をやりますから、それに必要なものを持って来て下さい。

12月22日 もちもの ハガキ(1枚) 色エンピツ、カブブック

C.S. 11月の動き



11月10日) 足柄山物語の劇を組ごとに考え、台本を作り、
 17日) 練習をしました。

11月24日 隊訓練

